

国際規格の動向—国際会議に出席して—

ISO/TC156(金属及び合金の腐食)/WG7(腐食促進試験) イギリス・ロンドン国際会議

須賀茂雄

2015年5月13日にISO/TC156(金属及び合金の腐食)の会議がイギリス・ロンドンにて開催され、中国・チェコ・フランス・ドイツ・イタリア・韓国・スウェーデン・イギリス・アメリカ・日本の10ヶ国21名が参加した。

当社に関係するWG7(腐食促進試験)について報告する。

(1) ISO 9227(塩水噴霧試験方法)

「ISO 10683 (ファスナー非電気亜鉛フレーク被覆)のAnnex C 亜鉛メッキ板の標準照合試験片をISO 9227に含める」というフランスの提案は、認められなかった。DIS(Draft International Standard)のDraftは、2015年5月27日までに提出する。

(2) ISO 11474(間歇塩水スプレによる屋外暴露試験方法)

PLがないために、改正に向けたNWIP(New Work Item Proposal)が発行されなかった。

(3) ISO 16701(温湿度制御下での間歇塩水スプレによる複合サイクル試験方法)

発行段階に進む(2015年6月、ISO 16701:2015として発行された)。

(4) スウェーデンが、塩水スプレサイクル試験についてのプレゼンをした。スウェーデンは、次回のWG7会議までに、サイクル試験(ACT1に基づく)のNWIPを作る。また、より一般的な装置のための別のサイクル試験を用意する。

(5) ISO 21207(腐食性ガス・塩水噴霧・乾燥試験の複合サイクル試験)

FIDS投票にかかる(2015年6月9日～)。

(6) ISO 11130(浸漬サイクル試験)

定期見直し回送中(2015年4月15日～9月16日)。

(7) 腐食試験の分野において、WG7を中心としてTC間での協調と表現等の統一を図る必要性が増しており、この構想として、腐食促進試験の選択に関するガイドライン(ISO TR 16335)が有益な情報となる。

(8) ISO 16539 B 法 (塩化物一定付着—絶対湿度一定でのサイクル試験) に関するデータのテクニカルレポート (TR)

藤田氏(JFEテクノロジー)が、ISO 16539 B法のバックデータをTRにするために、背景・試験結果・屋外暴露試験結果との相関性が良い事を説明した。TRのためのNWIPを用意する。

(9) 中国が、NWIPとして“Control method for the corrosion rate of the embedded steel reinforcement in concrete exposed to the simulated marine environments”をプレゼンした。この提案をWG7やTC156の他のWG、または他のTCに依頼しTC156と協力しながら進めるかどうかを、コンビーナはAG(Advisory Group)に提案する。

(10) ISO 16151 (酸性雨サイクル試験)

2014年9月終了の定期見直しは承認されたが、アメリカから一般的及び技術的コメントがあり、NWIPを送付する事となった。用語の統一等があるため、ISO 9227の見直し終了の時点で同様の手直しを行う事とした。

(11) 韓国が、NWIPとして“Accelerated method for measuring corrosion rates using Dynamic light scattering”をプレゼンした。これはWG7の範囲ではないと思われるが、NWIPを回送する。



TC156 メンバ

IEC/TC104 (環境条件、分類及び試験方法) アメリカ・ワシントン DC 国際会議

* 齋藤公平

2015年5月11日から14日にIEC/TC104: Environmental conditions, classification and methods of test (環境条件、分類及び試験方法)の会議がアメリカ・ワシントンDCにて開催され、アメリカ・ドイツ・スウェーデン・イギリス・日本の5ヶ国11名が参加した。当社須賀がプロジェクトリーダーを務めるMT16 (IEC 60068-2-60: 混合ガス流腐食試験、IEC 60068-2-52: 塩水噴霧サイクル試験) 及び、MT18(IEC 60068-2-5: 地表レベルの疑似太陽照射及び指針) の3規格について報告する。

〈MT16〉

・ IEC 60068-2-60(混合ガス流腐食試験)

前回の中国・北京国際会議(2014年10月開催)にて議論された内容が盛り込まれ、2015年3月にFDIS(Final Draft International Standard)として回送された。会議では回送中の旨が紹介された。

5月29日に投票結果が公表され、Pメンバ11ヶ国が投票し、全メンバが賛成、IEC承認となった。

・ IEC 60068-2-52 (塩水噴霧サイクル試験)

今年1月にCD(Committee Draft)が回送され、5月1日締め切りの各国コメントに対する議論を行った。主な改正内容は、塩水噴霧試験の代表的なISO 9227規格と比較し、試験条件の相違点や必要情報の欠落を補い、整合性を図る事である。今回の会議では、従来 of 塩水噴霧・湿潤・大気放置の試験条件に加え、新規のサイクル試験条件の提案もあり、CDの内容から大幅な変更となるため、次の段階は、CD2として審議が行われる予定。

〈MT18〉

・ IEC 60068-2-5 (地表レベルの疑似太陽照射及び指針)

試験を行なう上で必要な項目である、光源のフィルタ条件、ブラックパネル温度(BPT)、ブラックスタンダード温度(BST)、湿度条件などを明確にする

事を中心に、新規の試験条件の追加提案について審議された。

最終的な判断はプロジェクトリーダー(当社須賀)に委ねられた。本規格はIEC規格の中で太陽光を模擬する代表的な規格であり、問い合わせも多く、需要も多い為、Scopeから見直して広く利用可能な耐候及び耐光試験規格として確立していきたい。



会議風景

* 製造本部 技術開発部 課長

ISO/TC35(ペイント及びワニス)/SC9(一般試験方法)/WG31 アメリカ・ヒューストン国際会議

須賀茂雄

2015年6月9日にISO/TC35(ペイント及びワニス)/SC9(一般試験方法)WG31の会議がアメリカ・ヒューストンにて開催され、ドイツ・オランダ・米国・英国・スイス・日本の6ヶ国19名が参加した。当社に関係する案件を中心に報告する。

<決議事項>

- (1) ISO/DIS 1514 (試験用標準試験板)
DIS(Draft International Standard)投票時のコメントを審議し、FDIS(Final Draft International Standard)ステージに進む。
- (2) ISO/DIS 3248 (耐加熱性)
DIS投票時のコメントを審議し、FDISステージに進む。
但し、インドからこの規格以外にも多くの規格に、熱帯・亜熱帯諸国のための(27 ± 2)°C/(65 ± 5)%rhを標準試験条件として含めることが提案された。審議の結果、(23 ± 2)°C/(50 ± 5)%rhを変更すべきではない、となった。国際的に規格化され、標準試験条件として使用されているためである。そこで、「制限事項」として次の文章を追加することとした。「温度と湿度は、試験結果に影響する重要な要因である。要求仕様からの逸脱は他と比較できない結果をもたらす。しかし、利害関係者が代替りの要因を合意する場合は、それらの要因を報告しなければならない。」今後、改正版や新提案には全て「制限事項」を追加する。
- (3) ISO/DIS 3668 (色の目視比較)
DIS投票時のコメントを審議し、FDISステージに進む。
- (4) ISO/DIS 4623-2 (糸状の腐食試験—Part 2: アルミニウム基板)
DIS投票時のコメントを審議し、FDISステージに進む。
- (5) ISO/DIS 7784-1 (耐摩耗性 - 研磨紙法)
DIS投票時のコメントを審議し、FDISステージに進む。
Precisionデータを得るために、オランダ・ドイツ・日本で国際的な研究室間での試験を編成することになった。
- (6) ISO/DIS 7784-2 (耐摩耗性 - 摩耗輪法)
DIS投票時のコメントを審議し、FDISステージに進む。
Precisionデータを得るために、オランダ・ドイツ・日本で国際的な研究室間での試験を編成することになった。
- (7) ISO/DIS 7784-3 (耐摩耗性 - 試験片往復法)
DIS投票時のコメントを審議し、FDISステージに進む。
- (8) ISO/DIS 11997-1 (サイクル腐食試験方法 (塩水噴霧 / 乾燥 / 湿潤))
DIS投票時のコメントを審議したが、技術的なコメントが多い為、2nd DISステージに進む。
塩水噴霧試験溶液の試験前後の塩濃度とpH値についてより多くの情報を得るために、研究室間での試験を編成することが提案された。
- (9) ISO/WD 6270-1 (耐湿性 - 片面結露)
タイトルを、「Paints and varnishes - Determination of resistance to humidity - Part 1: Condensation (single-sided exposure)」に変更した。
改正した本文は、DISステージに進む。
- (10) ISO/WD 6270-2 (耐湿性 - 槽内結露)
タイトルを、「Paints and varnishes - Determination of resistance to humidity -Part 2: Condensation (in-cabinet exposure)」に変更した。
改正した本文は、DISステージに進む。
ISO 11503を廃止し、ISO 6270-2の改正版に置き換えるかどうかについての委員会内投票をSC9メンバーに送付する。
- (11) ISO/NWIP 6270-3 (耐湿性 - 回転方法)
ISO 6270-3のNWIP(New Work Item Proposal)は承認され、須賀がPL(Project Leader)となる。
この新提案は、ISO 6270-2に含めるか、それともISO 6270シリーズの独自のパートになるのかどうかについての議論があった。会議に出席した大半のexpertsは後者(独自のパート)を承認した。
須賀はWD(Working Draft)を用意する。
- (12) ISO/NWIP 20266 (写像性 - 反射と透過)

ISO 20266 のNWIP は承認され、須賀が PL となる。
WD へのコメントはなく、Mr. Reinmüller が
CD(Committee Draft) のための原稿を用意する。

(13) ISO/CD 15110 (酸性下での人工ケガリング)

CD 投票時のコメントを審議し、PL の Mr. Cornell
が本文を修正し、DIS ステージに進む。

< 2015 年 SR 投票結果 >

(1) ISO 3231:1993 (湿度を含む二酸化硫黄試験) は、
改正する。須賀が PL となる。ISO 6988(湿度を
含む二酸化硫黄試験)と一緒にすることが提案さ
れ、この規格が ISO/TC107 の担当であるが、ISO/
TC156 の範疇にあるため、須賀が ISO/TC156 に
提案し、承認されれば ISO/TC156 の元での作業
となる。

(2) ISO 16053:2010 (屋外暴露試験) は、改正する。
Mr. Reinmüller が PL となる。

< 新規提案 >

(1) ISO 2813:2014 (鏡面光沢度、20°、60°、85°)

Mr. Frankhuizen は光沢測定の開発についてプレ
ゼンをした。ISO 2813 の早期改正のためのアドホッ
クグループを組織することになった。光沢計の製
造者は、ASTM E12 委員会と同じように参加しな
ければならない。この結果は WG31 で発表され
る予定である。

(2) ペンを用いるスクラッチ試験

Ms. Herrmann が、DIN 55656 に基づく新規提案
の発表をした。オランダ・イギリス・ドイツ・アメリ
カ・日本・スイスが関心を示した。

(3) 塗膜の硬さと摩耗性

Ms. Herrmann が、DIN SPEC 91064 に基づく新規
提案の発表をした。オランダ・イギリス・ドイツ・
アメリカ・日本・スイスが関心を示した。

(4) Linear abrasion tester (crockmeter)

Ms. Herrmann が、DIN 55654 に基づく新規提案
の発表をした。オランダ・イギリス・ドイツ・アメリ
カ・日本・スイスが関心を示した。

< その他 >

(1) ISO 9227 (塩水噴霧試験方法)

須賀が、ISO 9227 改正の進捗状況を説明した。



会議風景



TC35/SC9 メンバ